

■米国：アップル社の電気事業への参入を FERC が承認

2016年8月8日の報道によると、連邦エネルギー規制委員会（FERC）は、Apple社が同年6月に申請していた電気事業への参入を承認したことが明かとなった。Apple社はこの承認により、保有または購入契約する再生可能エネルギーの電力を売電することが可能となる。なお、同社はフォートチャーチル（ネバダ州、2万kW）、ボニーブルック（アリゾナ州、5万kW）といった太陽光設備を保有するほか、First Solar社がカリフォルニア州に建設している太陽光発電所と13万kWの電力購入契約（PPA）も締結しており、これらの電力について、余剰分等を売電する。なお、2010年には、Google社が同様の承認を経て電気事業へ参入している。